

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年6月22日発行

## 1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾 病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	21 週	22 週	23 週	24 週	警報レベル		注意報レベル
	5月22日 ~ 5月28日	5月29日 ~ 6月4日	6月5日 ~ 6月11日	6月12日 ~ 6月18日	開始基準値	収束基準値	基準値
水痘	1 0.50	0 —	0 —	0 —	2	1	1
流行性耳下腺炎	0 —	1 0.50	1 0.50	1 0.50	6	2	3
感染性胃腸炎	5 2.50	5 2.50	12 6.00	12 6.00	20	12	-
手足口病	0 —	0 —	3 1.50	14 7.00	5	2	-
伝染性紅斑	0 —	0 —	0 —	0 —	2	1	-
突発性発しん	0 —	2 1.00	0 —	0 —	-	-	-
ヘルパンギーナ	0 —	0 —	0 —	3 1.50	6	2	-
インフルエンザ#	0 —	0 —	0 —	0 —	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	18 6.00	25 8.33	17 5.67	33 11.00	-	-	-
咽頭結膜熱	0 —	0 —	0 —	3 1.50	3	1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0 —	1 0.50	0 —	0 —	8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
RSウイルス感染症	1 0.50	2 1.00	0 —	0 —	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
川崎病	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
不明発疹症	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

## 2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	○	-
備考	手足口病	新型コロナウイルス感染症	

### \*「1.発生動向」の解釈について

・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数  
 ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数  
 ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

## 3. 栗原支所から

### 【 定点把握対象疾患 】

- ・新型コロナウイルス感染症は前週より4.33名増加し、11.00名です。
- ・感染性胃腸炎は前週と同数で6.00名です。
- ・手足口病は前週より5.50名増加し7.00名と「警報レベル」です。
- ・ヘルパンギーナは前週は0名でしたが、1.50名となっています。

### 【 集団発生情報 】

- ・高齢者施設において新型コロナウイルス感染症、保育所において手足口病の集団発生がありました。
- ・手洗い、換気、環境消毒、PPE着用、必要物品の補充等により、感染予防や拡大防止に努めましょう。

### 【 感染症コラム ～手足口病～ 】

- ・4歳頃までの幼児を中心に夏季に流行するウイルス感染症です。
- ・3～5日の潜伏期を経て、口腔粘膜や手掌・足底・足背等に現れる水疱性の発疹(2～3mm)等が出現します。発熱は約1/3に見られますが38℃以下のことがほとんどです。
- ・感染経路は、飛沫・接触感染です。
- ・ウイルスは症状回復後も便中に約2～4週間排泄され、長期にわたって感染源になる可能性があります。
- ・発疹に触った後・排便後・乳幼児のおむつ交換後の手洗い、換気、環境消毒等を徹底しましょう。(※アルコール消毒は効きにくいので流水・石けん手洗い、塩素系の消毒薬で環境衛生を)

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
 ☎0228-22-2117 📠0228-22-7594  
 HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>